図書便り

第１４４号
２０２０／７／３１発行
茨城県立筑波高等学校
図　書　委　員　会

読書感想文校内コンクール

夏休みがやってくる!!!
たくさん本を読んで，知識を深めよう。
そして，おもいっきり感動しよう。

読書感想文校内コンクールを実施します。上位３名の作品は，「青少年読書感想文コンクール　茨城県の部」に応募します。（　審査　国語科・教務部図書係　）

毎日新聞社主催全国高校生読書感想文コンクール
［高校生の部］
（１）課題図書

『廉太郎ノオト』　谷津矢車　著
中央公論新社
定価：1,750円（税別）

ライバル、友人、恩師に導かれ、瀧廉太郎は日本に西洋音楽を 響かせることを夢みる――。明治時代を駆け抜けた天才音楽家の甘く苦い青春小説。

【みどころ】
音楽の教科書でおなじみの瀧廉太郎が本書の主人公。見どころ（の一つ）はなんと言っても、天才ヴァイオリン少女との鬼気迫る合奏シーン！
音楽家を志しながらどこか控えめだった廉太郎が、目を覚ます様は必見です。

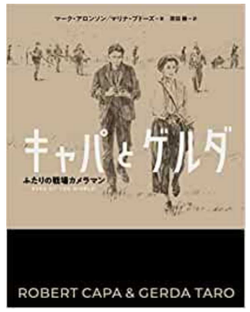
『フラミンゴボーイ』　マイケル・モーパーゴ　著
杉田七重　訳
小学館
定価：1,500円（税別）

ゴッホの絵に導かれて南仏を訪れた青年が遭遇したのは、第２次世界大戦末期、フラミンゴと話ができる少年とロマの少女の感動物語だった。

【みどころ】
フランスの南部、フラミンゴの生息地カマルグが舞台となっている。ナチスが侵攻してきたフランスで、何が起きたのか･･･。

『キャパとゲルダ：ふたりの戦場カメラマン』

マリナ・ブドーズ 著・原田勝 訳
あすなろ書房
定価：1,800円（税別）



生きるために…二人のカメラマンは戦場に向かった。夢と理想を支えに、革命の前線に身を投じた若き二人の青春ドキュメンタリー。

【みどころ】
写真…それは、生き延びるための切符だった。激動の 1930 年代、スペイン内戦を世界に伝えた二人のカメラマン、キャパとゲルダ。二人の生き方を是非高校生に読んで欲しいです。

（２）　自由図書

小説・エッセイ・ノンフィクションなど。
自由に選んで書いてください。教科書に載っているものは選べません。

原稿用紙の書き方

４００字詰め原稿用紙　B4 サイズ縦書き
４～５枚
１行目「題名」
２行目「学年　組　番　氏名」
３行目 本文書きだし

＊　最後に読んだ**本の名と作者・出版社**を記入してください。

今年はコロナウィルスの関係で，いろいろな行事が中止になってしまいました。図書館でも恒例の夏の文学散歩を中止しました。学校が再開しましたが，再び感染者が増加しつつあり，不安な状況が続きそうです。
「ステイホーム」の状況になったとしても，読書の楽しみは誰でも手軽に経験することができます。ぜひ図書館に足を運んで見てください。すてきな本との出会いがあるかもしれません。
楽しい夏休みの後、生徒の皆さんが元気に２学期を迎えることを願っています。

▼夏休み期間の図書館の開館日
８／３（月）～８／７（金），
８／24（月）～８／26（水）

開館時間：9:00～16:00

▼８月２７日の始業式には本の返却をお願いします.